

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)下仁田浅科線					
事業毎の通番		10	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	志賀(しが)				
事業概要	事業目的	(主)下仁田浅科線は群馬県下仁田町と佐久市街地を結ぶ主要地方道であり、大型車の交通量が非常に多い状況であるが、幅員が狭く歩道も未整備で、自動車の安全な通行、及び歩行者の安全に支障をきたしている。このため、拡幅及び歩道設置を行うことにより、通過交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図りたい。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 3,600台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	2.7	国庫	その他	県債	一般財源		
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=1,700m W=5.5(7.0)m			1,500,000	900,000		540,000	60,000	
	年度事業内容(主な工種)									
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 14億円							
		間接的効果(定量的・定性的)	大型自動車事故防止							
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○代替道路の有無 : なし</li> <li>○交通結節点アクセス : バス路線(佐久市バス 志賀線)</li> <li>○観光地アクセス : 妙義荒船国定公園、神津牧場、内山牧場に通じる道路</li> <li>○地域の活性化 : 佐久市～群馬県下仁田町、軽井沢を周遊する観光、地域連携に資する道路</li> </ul>						評価	A	
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合 : 第一次佐久市総合計画、低開発地域、工業開発地域</li> <li>○緊急輸送道路の路線指定 : 東小学校(広域避難場所)への避難経路</li> <li>○地域指定 : なし</li> </ul>						評価	C	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C) : 2.7</li> <li>○事業期間 : 6年</li> <li>○工法等の比較検討 : ルート比較の中で工法検討実施</li> <li>○他事業との連携 : なし</li> </ul>						評価	B	
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数 : H21 1件、H24 1件</li> <li>○危険箇所対策 : なし</li> <li>○歩道整備 : 歩道未設置区間</li> <li>○道路構造 : 現況幅員 5.0m</li> </ul>						評価	A	
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有 : 平成25年度に地元役員と現地立ち合いを実施、区の回覧を活用し地域に周知</li> <li>○地域の取り組み : 志賀・新子田ハイパス建設促進期成同盟会</li> <li>○地域の合意形成 : 合意形成は図られていない</li> <li>○住民との協働 : 住民関与は低い</li> </ul>						評価	C	
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。			評価結果	総合評価	B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

現道の状況

標準横断面図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)下仁田浅科線は群馬県下仁田町と佐久市街地を結ぶ主要地方道であり、大型車の交通量が非常に多い状況であるが、幅員が狭く歩道も未整備で、自動車の安全な通行、及び歩行者の安全に支障をきたしている。本事業区間の前後にある新子田地区、駒込地区はハイパスによる道路改築が完了しており、当該区間が路線のボトルネックとなっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は沿線に人家が密集しており、幅員が狭いにもかかわらず大型車の交通量が多い。また、付近に小学校があることから、歩行者の保護が求められている。このため、地元からの要望も強く、期成同盟会、佐久市から毎年道路改良の要望があげられている。
③事業説明等の経緯	毎年実施されている期成同盟会総会及び、H25年度には地元区の総会において当所職員が事業の進捗状況について説明を行っている。また、H25. 11月には期成同盟会役員とルート検討のための現地立ち合いを行った。現在実施中の当該工区終点側370mの現道拡幅事業は、H27完了予定であり、佐久市からは早期の事業化を求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	佐久市で策定されている第一次佐久市総合計画において、交通ネットワーク形成の主要施策に位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	当該地区沿線には、歴史的に重要な建造物、及び神社・仏閣が数多く存在している。また、自然豊かな里山地区でもあるので、周辺環境に配慮した計画を検討する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化と歩行者の保護が図られ、地域の観光ネットワークにも寄与するものと期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 14' 55" 東経:E 138° 31' 18"